

【北海道百年記念塔を守る会アンケート】

名前：鈴木直道

別紙

Q1 数百万道民の歴史である北海道開拓についてどう思われますか？

その他

理由：今日の北海道は、額に汗し、道を拓き、暮らしを支えてきた先人の英知と努力、進取と挑戦の精神により、築き上げられてきたものであり、これまで先人が大切に守り、懸命に培ってきた自然や食、文化といった価値は、現在も何ら色あせるものではなく、一層の輝きを増しているものと認識しています。この豊かなふるさと北海道を次の世代に引き継いでまいります。

Q2 北海道百年記念塔は「北海道開拓の象徴」として建立されました。開拓の象徴であることが記念塔解体の背景になっているという指摘があります。どう思われますか？

2 関係はない

理由：記念塔は老朽化が進み、錆片などの落下もあったため、道では、塔のあり方について、平成28年以降、様々な専門家や有識者の方々の知見を伺い、時間をかけ、慎重に検討を重ねてきました。その結果、塔の構造上、錆や腐食の原因となっている雨水の浸入を完全に防ぐことや、これ以上の排水対策は難しいことから、今後の老朽化の進行を完全に防ぐのは困難であるとの結論に至り、利用される方々の安全確保や将来世代への負担軽減等の観点から、解体もやむを得ないと判断したものです。

Q3 北海道百年記念塔を守る活動は全国的な広がりを見せていますが、記念塔問題についての道の説明をどのように思いますか？

その他

理由：道では、これまで、塔の解体の判断に至った考えを示した「交流空間構想」について、道議会での議論はもとより、経済団体や各自治体、地元町内会の方々や塔を校歌・校章に用いている学校などに対し、可能な限り直接伺い、説明を行ってきたところです。

また、塔の存続を求める方々のご要望に応じて、塔の現状をご覧いただいたほか、オンラインによる説明会の開催など、様々な機会を通じて、道の考えをご理解いただけるよう努めてきたところです。

Q4 北海道百年記念塔解体差止を求めて行政訴訟が起こされているにもかかわらず、道は解体工事をすすめています。このことについて伺います。

その他

理由：塔の解体工事に関しては、解体に係る予算や工事請負契約の締結について、道議会の議決をいただいた上で、昨年10月に契約を締結したところです。解体に関し、訴訟の提起など、地元住民の方々の思いや様々な意見があることは承知していますが、公園を利用される方々の安全確保が何より重要であり、解体もやむを得ないと判断した考えに変わりはありません。なお、現時点で、裁判所において工事の仮の差止め等の決定はありません。

Q5 仮に初審で解体差し止めの判断が出た場合、道はどうすべきだと思いますか？

その他

理由：係争中の事案であり、コメントは差し控えさせていただきます